



笛南中だより

令和5年7月20日
甲府市立笛南中学校
文責 校長 七澤 聡

一学期の成果を二学期に

一学期が終了を迎えます。GW明けからコロナ感染症が5類となり、アフターコロナの生活が始まりましたが、笛南中では、4月から制服登校など対応を先んじて行ってきたので、違和感なく令和5年度一学期をおくることができたのではないのでしょうか。学校行事としても1年生の宿泊学習、2年生の地域巡り、3年生の修学旅行と大きなトラブルもなく、やり遂げることができ、思い出とともに成果を上げることができました。行事をやり遂げるごとに成長が見られたこと、嬉しく感じます。生徒会活動も主体的活動が多く、【小さな生徒会で、大きな成果】でした。特に全校生徒で取り組んできた専門委員会活動は形式的なものではなく、PDCAサイクルを重視し、しっかり反省をした上で次に繋げる方策を考え、建設的な活動が次から次と提案され全校で取り組めたこと、とても素晴らしい活動でした。二学期にも繋がる取組、期待しています。



計画的な夏休みを!

さて、明日から35日間の夏休みに入ります。「涼しい午前中に学習(宿題)をして、午後外で遊びましょう。」と言っていた昔の夏休みとは状況が異なります。「朝から暑い、命の危険を感じる暑さですので、外出は控えましょう」といった夏休みになることが予想されますので、家にいる時間が長くなるでしょう。その時間をどのように使うかは、一人一人に任せられます。部活動や夏季講習会に参加など決められた活動がある場合はいいですが、それらが無い人は、一日中【自由時間】です。計画をしっかり立てないと、あっという間に一日が終わり、35日間の夏休みが過ぎ去ってしまいます。そこで、校長から2つのお願いをします。

1つめは、「早寝、早起きをしよう」です。生活のリズムを整え、二学期のスタートが滞りなく切れるよう「早寝、早起きをしましょう」

2つめは、「読書をしよう」です。これからの社会は、AIの発達やICTの普及に伴い、予測できない社会を生き抜くために必要な考える場面が減っていきます。特に、ゲームやYouTubeなどの映像は一方通行の情報であり、考える必要がありません。読書は、文章だけですから、文脈から場面を連想し、次に何が起きるか考え想像することができます。長い休みに色々なジャンルの本をたくさん読み、考える力を育てましょう。

以上、2つのお願いです。

一回りも二回りも大きく成長した皆さんに会える日を楽しみにしています。充実した夏休みをお過ごしください。